

公立学校における働き方改革

取 組 事 例 集



令和8年4月
青森県教育庁 教育政策課 学校の幸せ推進室

はじめに

県教育委員会では、令和8年2月に策定した「学校における働き方改革プラン」において、“学校における働き方改革の目的（目指す姿）”を示し、業務改善に向けた様々な取組を進めております。

本事例集は、各教育事務所による小・中学校への訪問等で提供のあった好事例や学校業務改善伴走型支援事業の実施校による好事例を中心に紹介しております。これらの事例を各学校で取り入れる際には、実情に合わせて取組内容を調整し、「まずは試してみる」「だめなら元に戻せばいい」という柔軟な姿勢で、効果や課題を検証しながら本格的に実施することが有効です。

各学校における働き方改革の一層の推進に向けて、本事例集を積極的に御活用いただくようお願いいたします。

学校における働き方改革の目的(目指す姿)

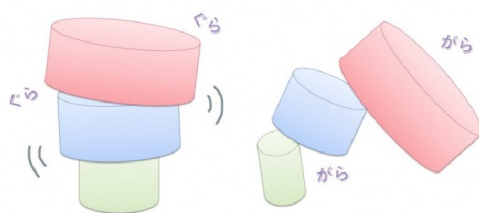
教職員が、心と体の健康を維持しながら安心して働くことができる職場環境のもと、一人一人が能力を発揮することで、学校教育の質の向上と持続可能な学校を目指します。

心と体の健康は、あらゆる活動の土台となるものであり、持続可能な学校を実現するために不可欠です。

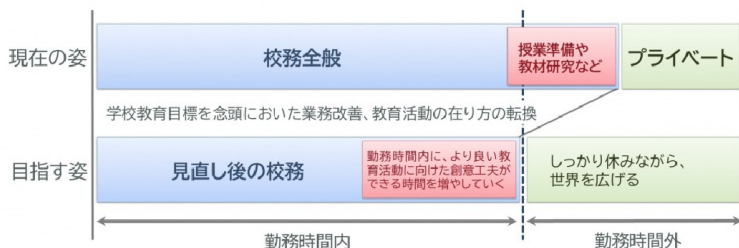
この土台のもと、一人一人が能力を発揮できるようになることで、学校教育の質の向上につながっていきます。



土台(心と体の健康)がしっかりしているため、安定した状態



やりがいに対して土台が小さすぎるため、不安定な状態



教育委員会と学校とが働きやすい環境整備を進めることによって、勤務時間外を先生方が自分のために使う時間にするのととも、勤務時間内に教材研究等を行うことができる時間を増やしていきます。

①教育課程等の見直し

朝活動の削減	1
授業時数の調整	1
短縮校時の導入	2
業間時間等の削減	2
清掃活動の削減	3
余剰時数の削減	3
行事の精選・簡略化	4
教育課程編成プロセスの見直し	4

②学習指導の見直し

宿題の見直し	5
定期考査の見直し	5

③会議等の見直し

職員会議・諸会議の見直し	6
職員朝会・打合せの見直し	6

④事務的作業の見直し

通信票作成の工夫	7
学年・学級経営案の廃止	7
指導要録・調査書作成の工夫	8

⑤組織体制の見直し

日直制の廃止	8
教科担任制・授業ローテーションの導入	9

⑥ICTの活用

アンケートの効率化	9
学習アプリの活用	10
自動採点システムの活用	10
保護者連絡ツール・留守番電話の活用	11
職員間の情報共有体制の整備	11

⑦外部人材の活用

ボランティア募集の工夫	12
ボランティアの活用	12
P T A活動・組織の見直し	13

⑧勤務時間意識の向上

退勤時刻の設定	13
職員の意識向上	14
年休取得・定時退勤の促進	14

⑨部活動指導の負担軽減

複数担当制の導入・地域人材の活用	15
------------------	----

⑩その他

校内研修の見直し	15
解錠時刻・登校時刻の変更	16
帰りの会の短縮	16
保護者への周知	17

①教育課程等の見直し

小学校
中学校

朝活動の削減

【これまでの課題】

- 朝自習の準備をするために、朝早く出勤していた。
- プリントの回収、丸付け、返却、個別指導などに多くの時間をかけていた。
- 朝自習や朝読書などの取組が、本当に必要かをじっくり問い直したい。

【取組内容】

- 朝の運動やドリルタイムなどの活動を合計25分カットした。
- 朝自習を廃止し、タブレット学習（帰りの会の5分間）を導入した。
- 朝読書を廃止し、その分下校時刻及び部活動終了時刻を早めた。

【取組の効果】

- 朝活動の意義を見直すことで時程を変更して下校時刻を早め、授業の準備や教材研究にじっくり取り組むことができた。
- 朝自習に係る準備等がないため、心にゆとりをもって生徒に接することができた。

①教育課程等の見直し

小学校
中学校

授業時数の調整

【これまでの課題】

- こどもたちのためにより良い授業づくりに取り組むため、教材研究の時間を確保したい。

【取組内容】

- 5時間授業の日（1年生は4時間授業の日）を設定し、放課後の教材研究等の時間を確保している。
- 毎月最終金曜日を5時間授業としている。
- 週始めを5時間授業とし、放課後の会議の時間を確保している。

【取組の効果】

- 5校時日課になることで、児童の下校時刻も早まるので、ゆとりをもって授業の準備をすることができ、質の高い学びの実現に寄与している。
- 打合せの時間がきちんと確保されるので、計画的に業務を進めることができた。

①教育課程等の見直し

小学校

短縮校時の導入

【これまでの課題】

- ・放課後にゆとりを持って教材研究や授業準備をする時間を確保したい。

【取組内容】

- ・水曜日をノー残業デーとし、午前短縮5時間授業、午後は清掃なしで給食・帰りの会を行い、14時完全下校としている。
- ・短縮日課を週3日設定し、下校時刻を10分繰り上げた。

【取組の効果】

- ・児童が早く下校することで、放課後じっくりと教材研究をする時間があり、より良い授業につながっている。
- ・40分授業に最初は戸惑ったが、効率化を図りながらより良い授業づくりを心がけるようになり、授業の質も高まっていると感じている。

①教育課程等の見直し

小学校

業間時間等の削減

【これまでの課題】

- ・補助学習やマラソンなど、業間に実施している活動の意義・有用性を問い直す機会がなく、形骸化していた。
- ・放課後にゆとりを持って授業の準備や教材研究の時間を確保したい。

【取組内容】

- ・昼の清掃後に実施していた国語・算数の習熟を図る学習活動の時間をカットし、児童の下校時刻を早めた。
- ・マラソンなど業間に行っていた活動を削減・廃止し、放課後の教材研究等の時間を確保している。
- ・朝5分、給食終了後の5分、昼休み5分の計15分を短縮し、児童の下校時刻を15時00分とした。

【取組の効果】

- ・児童の下校時刻を早めることで、放課後の授業準備や教材研究の時間が確保でき、授業の質向上につながった。
- ・授業以外に行っていた活動等の価値・課題を明らかにした上で見直すことで、皆が納得して結論を出すことができた。

①教育課程等の見直し

小学校
中学校

清掃活動の削減

【これまでの課題】

- 使っていないスペースの清掃も毎日行っていたため、清掃活動の効果を感じにくかった。
- 特に意義を考慮せず、毎日やるのが当たり前だった。
- 放課後にゆとりを持って教材研究や授業準備をする時間を確保したい。

【取組内容】

- 月曜日と水曜日の清掃を廃止し、教材研究等の時間を確保している。
- 給食時間25分、昼休み30分、清掃時間10分に変更し、下校時刻を15時25分に早めた。
- 毎日行っていた清掃を週2回に減らし、5校時日課を週1回から週2回に増やした。

【取組の効果】

- 清掃回数が減ることで、校舎が汚れるのではないかという不安があったが、活動後にきれいにする指導を全校で取り組むことで、変更前と変わらない環境を維持している。
- 放課後にゆとりが生まれたことで教材研究が充実し、満足のいく授業ができるようになり、以前よりもやりがいを感じられるようになった。

①教育課程等の見直し

中学校

余剰時数の削減

【これまでの課題】

- 余剰時数の設定により、週当たりの全体の授業時数が多く、職員会議の開始時刻が遅くなり、勤務時間内に終わらないことがあった。
- 学期末や年度末の事務処理等の時間の確保が課題だった。

【取組内容】

- 各教科の余剰時数を見直し、年間授業時数を1015時間ぴったりで設定した。
- 年度末業務の時間を確保するため、卒業式後の授業時数を減じている。

【取組の効果】

- 余剰時数を削減したことで、週当たりの授業時数も減り、定例の職員会議も早い時間から始め、勤務時間内に確実に終了している。
- 卒業式後の放課後にゆとりが生まれ、指導要録などの年度末事務を夜遅くまで残ってやることがなくなった。

①教育課程等の見直し

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

行事の精選・簡略化

【これまでの課題】

- ・参観日に行う学年懇談等の資料作成に、多くの時間を割いていた。
- ・様々な学校行事の準備・指導に、多くの時間を割いていた。

【取組内容】

- ・対外的行事の精選をした。
- ・1学期の参観日を授業参観のみとし、学年・学級懇談は行わないこととした。
- ・校内マラソン記録会を簡素化した。
- ・入学式、運動会、卒業式の内容を簡略化し、練習及び事前指導の回数を削減した。
- ・体育祭について、これまでの1日開催を見直し、半日開催にした。
- ・体育祭と文化祭を平日に開催した。
- ・通学路確認（生徒の自宅場所を確認）を原則廃止し、必要がある生徒に関してのみ夏季休業中に実施している。
- ・小・中学部の体験入学を廃止することとした。
- ・運動会と学習発表会を隔年で実施することとした。

【取組の効果】

- ・参観日の資料を作成する必要がなくなった分、授業の準備に時間を充てることができた。
- ・行事の意義・本質を見直すことで、「見栄え重視&手をかけすぎる行事」から、「こども主体性向上&こどもに委ねる行事」へと転換し、教育の質が向上した。

①教育課程等の見直し

小学校
中学校

教育課程編成プロセスの見直し

【これまでの課題】

- ・教育課程編成アンケートの結果により次年度の計画を作成しているが、前年踏襲となることが多かった。

【取組内容】

- ・教育課程編成アンケートで抽出された課題について、分掌のみでなく、全教職員が全ての課題に対して率直なアイデアを出し合うワークショップを実施した。

【取組の効果】

- ・教育課程に係る課題について、短時間で全員が方策を検討することで、教職員が自分ごととして捉えるようになるとともに、一人一人の意見が反映されやすいので、学校経営への参画意識が向上した。

②学習指導の見直し

小学校

宿題の見直し

【これまでの課題】

- 宿題の点検や丸付け等の処理に時間を要していた。
- 一律の宿題は、一人一人の習熟度に合わせる事が難しいため、学習効果に課題が見られた。

【取組内容】

- 土日を「ノー宿題DAY」にしている。
- 毎月の最終週末（金・土・日）を宿題なしの「家族で楽しもうDAY」とし、2学期に試行実施した。冬期休業中に児童、保護者、教職員にアンケートを実施したところ、「今後も継続してほしい」との意見が多数だったため、3学期も実施することとした。

【取組の効果】

- 自らが学びたいことを学べるようにしたことで、学習の質向上につながった。
- 宿題の丸付けがなくなったため、こどもと向き合う充実した時間が増えた。
- 宿題の在り方を見直すことが、授業を含めた学びの本質について考えるきっかけとなった。

②学習指導の見直し

中学校
高等学校

定期考査の見直し

【これまでの課題】

- 定期考査の作成・処理に多くの時間を要していた。

【取組内容】

- 定期考査を教員作成から業者作成のものへ移行した。
- 定期考査を廃止し、教員作成の単元テストを実施している。
- 2学期中間考査を廃止し、各学期1回の設定にした。
- 1学期中間考査を廃止した。
- 新学期テストを廃止した。
- 校内模擬試験の回数を削減した。
- 金曜日の実施をやめて、土日に採点作業を行わないようにした。

【取組の効果】

- 成績処理の時間がなくなった分を、授業の準備や教材研究に充てることができ、学びの質向上につながっている。
- 単元テストを実施することで、短いスパンで必要な手立てを講じることができた。

③会議等の見直し

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

職員会議・諸会議の見直し

【これまでの課題】

- ・会議の回数が多く、生徒と接する時間の確保が課題だった。
- ・会議資料を印刷して準備するための時間が必要だった。

【取組内容】

- ・会議冒頭に終了時刻を宣言している。会議資料は事前配付し、論点を整理することで会議の効率化を図っている。
- ・資料の読み上げを不要にし、時間の短縮を図っている。
- ・PCを使用し、ペーパーレス化を図っている。
- ・定期考査日の午後に設定していた職員会議の回数を削減した。
- ・学年成績会議を廃止した。

【取組の効果】

- ・会議資料印刷のための時間が削減され、その時間を教材研究に充てている。
- ・会議時間が短縮されることで、生徒と接する時間の確保につながっている。
- ・会議を行わなくても情報共有を積極的に行うことで連携を図ることができている。

③会議等の見直し

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

職員朝会・打合せの見直し

【これまでの課題】

- ・朝のHRまでの時間が慌ただしい。
- ・毎日職員朝会を実施しているが、職員間の情報共有の方法を検討している。

【取組内容】

- ・職員朝会を廃止し、連絡事項等を職員室内のデジタル掲示板で共有し、各教室で確認している。
- ・毎朝の三役会及び職員朝会を廃止した。
- ・グループウェアを活用し、各自が端末で確認するため職員朝会を週1回にしている。
- ・Teamsで情報共有することで、職員朝会の時間を短縮した。

【取組の効果】

- ・朝のHRまでの時間にゆとりができ、生徒とのコミュニケーションがより深まった。
- ・グループウェアの活用により、スピーディーに情報共有が図られている。

④事務的作業の見直し

小学校
中学校

通信票作成の工夫

【これまでの課題】

- 学期末は、成績処理など事務処理が多く、負担の軽減が課題であった。
- 所見の記述や点検などに時間を割いており、事務処理の負担軽減が課題であった。

【取組内容】

- 担任所見を年1回とし、定期実施の保護者面談において生徒の頑張り等を伝えている。
- 3学期制だが通信票は年2回の配付としている。担任所見は廃止し、道徳・総合の評価は年1回としている。
- 道徳、総合、外国語活動の所見を廃止し、観点別評価にしている。
- 通信票作成期間を4～5校時とし、作成に係る時間を確保している。
- 作成を学年スタッフで分担している。

【取組の効果】

- 担任所見が廃止されたことで、負担軽減につながった。
- 担任所見を廃止したことによる保護者の反応が心配だったが、通信票では伝えきれないこどもの頑張りや三者面談にて丁寧に伝えているので、保護者からは好評である。
- 校時変更で放課後の時間が増えたので、学期末でも授業の準備にゆとりをもって取り組むことができる。
- 業務が平準化され、学期末でも学級担任がゆとりをもって生徒に接することができる。

③事務的作業の見直し

小学校
中学校

学年・学級経営案の廃止

【これまでの課題】

- 学年経営案、学級経営案を作成しているが、有効な活用が少なかった。

【取組内容】

- 学年・学級経営案を廃止し、個人目標へ移行している。

【取組の効果】

- 年度初めの業務が軽減され、こどもたちとの出会いの時期に心にゆとりがもてる。
- 学年経営・学級経営の方針・手立て・振り返りを明示した個人目標が、アップデートのための重要なエビデンスとなっている。

④事務的作業の見直し

小学校
中学校

指導要録・調査書作成の工夫

【これまでの課題】

- 指導要録の総合所見に関して、児童・生徒のために「たくさん」記述していた。
- 指導要録作成が通信票作成時期とも重なっていた。
- 調査書所見の作成に時間を要していた。

【取組内容】

- 指導要録の記載を必要最小限としている。
- 簡略化した総合所見の記載例を作成し、それに則り記載している。
- 指導要録の作成を学年スタッフで分担している。
- AI（Gemini）を活用して調査書所見の土台を作成し、業務の効率化を図っている。

【取組の効果】

- 指導要録の総合所見について、必要最低限としての記載例を共有することで、点検作業も含めて時間削減につながった。
- 学級担任の負担軽減につながり、年度末にこどもと接する時間を確保できた。
- AIの活用により文章を一から考える必要がなくなるので、時間短縮につながっている。

⑤組織体制の見直し

小学校
中学校

日直制の廃止

【これまでの課題】

- 校舎の見回り（施錠）当番の日は、こどもたちが下校し、教職員がある程度退勤してから行うことになっていた。

【取組内容】

- 放課後に行っていた校舎の見回り（施錠）当番を廃止して、一番遅くまで学校に残っている職員が施錠することにした。
- 施錠管理等について教頭に頼らない体制を探った。

【取組の効果】

- 平日の見回り当番がないので、負担感が減り、早く帰ろうとする意識が高まった。
- 当番制をやめることで、児童・生徒を含め消灯・施錠など後始末に対する意識が高まった。

⑤ 組織体制の見直し

小学校
中学校

教科担任制・授業ローテーションの導入

【これまでの課題】

- ・先生方の得意分野を活かすことで、児童のより良い学びにつなげたい。

【取組内容】

- ・体育の授業を5・6年生合同で実施し、各教員が得意な分野についての授業を行うことで、負担を減らすことができた。
- ・保健体育を複式で実施している。
- ・校区の小・中学校で連携し、英語について教科担任制を実施している。
- ・道徳の授業担当をローテーションにすることで、授業の質を高めている。
- ・3～6年生の技能教科については、専科が担当している。
- ・家庭科、書写、理科において、教科担任制を実施している。

【取組の効果】

- ・空き時間が確保され、じっくりと教材研究をすることができ、質の高い授業づくりにつながった。
- ・専科の先生が授業をすることで、授業の質が高まり、こどもたちの主体的な学びを実現している。

⑥ ICTの活用

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

アンケートの効率化

【これまでの課題】

- ・生徒や保護者対象の各種アンケート調査は、紙媒体で配付・回収し、Excel等に手打ちで処理・集計していた。
- ・教務主任が各行事の反省を紙媒体で実施しているが、配付・回収・処理に時間を要していた。

【取組内容】

- ・各種アンケートをフォームで実施し、即時集計・即時フィードバックを行っている。
- ・紙媒体で行ってきた各行事の反省をフォームでの処理に変更した。

【取組の効果】

- ・フォームを使うことで、処理する担当者のみならず、回収する学級担任の負担もかなり軽減された。同時に「こどもが保護者にプリントを見せていない」というトラブルもなくなった。
- ・各学校行事の反省等が、教職員の記憶が新しいうちにフィードバックされるので、議論やアップデートがしやすくなった。

⑥ ICTの活用

小学校
中学校

学習アプリの活用

【これまでの課題】

- ・習熟度の違うこともたちへの指導の一つとして、何種類かの課題プリント等を使用しているが、その作成等に時間がかかってしまう。

【取組内容】

- ・授業や家庭学習でAIドリルを活用している。
- ・「eライブラリ」、「すらら」、「学研」を活用しており、小・中連携している。

【取組の効果】

- ・アプリでは、その子に適した課題を即座に提示・処理してくれるので、個別最適な学びにつながっている。
- ・小・中学校で同じアプリを活用することで、見通しと継続性のある学びになっている。

⑥ ICTの活用

中学校
高等学校

自動採点システムの活用

【これまでの課題】

- ・定期考査後の丸付けや成績処理に時間を要していた。
- ・生徒の成績に関わる採点処理には正確さが求められるため、慎重に作業を進めている。


【取組内容】

- ・自動採点システムを活用し、処理の効率化を図っている。

【取組の効果】

- ・丸付けも迅速に処理できるので、かなりの時間を削減することができた。
- ・順位や平均点などの成績処理を正確に処理できるので、精神的な負担が軽減された。

⑥ ICTの活用



小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

保護者連絡ツール・留守番電話の活用

【これまでの課題】

- ・勤務時間を超えても保護者からの電話対応があり、教材研究の時間が制限されていた。
- ・配付物の印刷などに時間がかかっていた。
- ・児童・生徒に配付したお便りが、保護者まで届いていないことがあった。
- ・電話対応で「言った、言わない」のトラブルにつながるがあった。


【取組内容】

- ・面談する際は原則30分以内での対応としている。電話受付も勤務時間内とし、家庭への配付物はアプリを活用している。
- ・保護者からの連絡は電話ではなくメールとしている。
- ・休日や勤務時間外は留守番電話での対応としている。

【取組の効果】

- ・勤務時間外の電話対応が不要となり、教材研究などに集中して取り組める環境になった。
- ・保護者からの連絡をメールにすることで、記録として残るため、適切な対応につながっている。
- ・学校からの配付物をデジタル配信にすることで、全家庭に情報が行き届きやすくなった。

⑥ ICTの活用



小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

職員間の情報共有体制の整備

【これまでの課題】

- ・紙による情報共有が多く、資料を探すまでに時間がかかる。
- ・情報共有のために職員が集まる機会が多くなり、時間の余裕がない

【取組内容】

- ・グループウェアの活用により、行事予定や連絡事項を各自が端末で入力できるようにし、職員朝会を週2回にした。
- ・職員室に大型モニターを設置し、職員の動態、生徒の出欠、行事等の情報を共有している。
- ・「LINEWORKS」を導入、授業のワークシートなどを共有するなどアプリ内フォルダを活用している。

【取組の効果】

- ・グループウェアやモニターを活用することで、いつでも情報を確認することができている。
- ・職員が集まらなくても情報を共有することができるため、時間短縮につながっている。

⑦外部人材の活用

小学校
中学校

ボランティア募集の工夫

【これまでの課題】

- ・行事等でのボランティアを募集をする際は、文書を作成・配布するなど、時間を要した。

【取組内容】

- ・授業・行事でサポートするボランティアを、チラシやSNSなどにより学校独自で募集し、学習発表会、授業、読み聞かせ活動において支援の協力を得た。
- ・「まなびポケット」を利用して、学習ボランティアを募集している。

【取組の効果】

- ・SNS等を使って募集することで、保護者等にも簡単に周知・募集することができ、かなりの負担軽減につながった。

⑦外部人材の活用

小学校
中学校

ボランティアの活用

【これまでの課題】

- ・登校指導がある日は、勤務時間前に出勤していた。
- ・教職員が英語検定などの試験監督を請け負っている。
- ・卒業アルバム作成に係る業務は写真の選定などに時間を割いていた。
- ・教職員と生徒が教室等のワックスがけを定期的に行っている。


【取組内容】

- ・登校指導を、月1回地域協働活動推進員が挨拶運動を兼ねて実施している。
- ・英語検定などの試験監督を、地域の方・保護者が担当している。
- ・卒業アルバムに掲載する写真の選定を、保護者主体の卒業準備委員会へ移行した。
- ・教職員・児童が定期的に行っている教室のワックスがけを業者に依頼した。

【取組の効果】

- ・こどもたちにも心にゆとりをもって接することができるようになった。
- ・登下校時に保護者や地域の方が見守ってくれることに、児童も教職員も安心感を得ている。
- ・卒業アルバムに係る業務が軽減され、こどもたちと向き合う時間が増えた。
- ・ワックスがけを専門業者が行うので、仕上がりも美しく、教職員・児童の余白が増えた。

⑦外部人材の活用



小学校
中学校

PTA活動・組織の見直し

【これまでの課題】

- ・生徒数減少に伴い、PTA活動に係る役割が以前よりも増している。
- ・PTA活動が土日など休日に実施されていることがある。


【取組内容】

- ・PTA組織（部会）の数を減らすなど縮小化を図った。
- ・PTAの取組であった休日の環境整備奉仕作業を保護者のみで実施している。

【取組の効果】

- ・PTA活動の組織や活動内容を見直すことで、本当に必要な活動を精査することができ、無理のない、より充実した活動へと変わっていった。
- ・保護者が協力してくれたことで、学校と保護者が一体となって学校をつくっていく雰囲気が醸成された。

⑧勤務時間意識の向上



小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

退勤時刻の設定

【これまでの課題】

- ・同僚の退勤時刻が分かりにくく、業務のお願いがしづらかった。
- ・放課後に打合せや会議が入ってしまい、その後に授業の準備をしていた。

【取組内容】

- ・出勤時、各教職員がボードに目安の帰宅時刻を予定退勤時刻としてマグネットで提示し、見える化を図りながら全体で共有している。
- ・会議なしの定時退勤日を、週に1日設定している。

【取組の効果】

- ・予定退勤時刻が示されたボードにより、教職員個々の意思を共有できるので、お互いに退勤しやすくなった。
- ・放課後に会議等何もない日があることで、心にゆとりが生まれ、じっくり教材研究をすることができる。

⑧勤務時間意識の向上

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

職員の意識向上

【これまでの課題】

- 管理職主導で働き方改革を進めてきたが、先生方がどのように感じているか不安だった。
- 業務について話し合う機会自体がなかった。

【取組内容】

- 校内で業務改善を進めるために校内でアンケートを取り、皆で話し合う機会を設定した。
- 業務改善リストを作成→プロジェクトチームの編成→全体提案・協議の流れをつくり、教職員一人一人が「やってみたいプロジェクト」を選択し話し合っている。

【取組の効果】

- 業務について話し合うことで先生方の信頼関係づくりにつながった。
- これまでの業務を振り返ることで、様々な教育活動の価値と課題を確認することができた。
- 自分たちで働き方改革を進めることができるという「雰囲気づくり」ができた。

⑧勤務時間意識の向上

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

年休取得・定時退勤の促進

【これまでの課題】

- 職員が休みやすい環境を作りたいが、どのような手段があるか模索している。

【取組内容】

- 週休日の前後に会議を入れないようにした。
- 教職員のリフレッシュを促進するため、管理職から退校時間をアナウンスした。
- 定時退勤を月2回以上確保するように取り組んだ。

【取組の効果】

- 職員が計画的に休暇を取りやすい環境を作ることができた。

複数担当制の導入・地域人材の活用

【これまでの課題】

- 日々の指導に加えて選手登録や大会参加手続き、練習計画作成や大会の引率など、すべて一人で行っている。
- 経験したことのない部活動の顧問なので、専門的な指導ができない。

【取組内容】

- 顧問2名体制で、休日はどちらか1名での指導を推奨している。
- 顧問3名体制で、休日を含め交代制にしている。（卓球部・バスケット部・陸上競技部）
- 練習試合や大会は顧問が引率しているが、普段の練習は、スポーツ少年団のコーチが指導している。

【取組の効果】

- 複数顧問で平日・休日とも分担しているので、お互いにゆとりが生まれている。
- 指導にあたる顧問、選手登録など事務処理をする顧問とそれぞれの得意分野を生かして役割を分担している。
- 地域のスポーツクラブと連携することで、専門的な指導を受けられる生徒の意欲や技術の向上が見られた。

校内研修の見直し

【これまでの課題】

- 校内研究授業の実施のために多くの時間を割いている。
- 教科のローテーションなど割り当てによる研究授業を実施している。

【取組内容】

- 指導案を細案から略案に変更し、10ページ程度から3ページ程度に削減した。
- 集中授業は1つにするとともに、先生方の参観を自由にした。
- 研修部主導で、授業改善を目的とした「見せ合い授業」を行っている。

【取組の効果】

- 授業の振り返りや協議に重点をおくことができ、後につながる学びがあった。
- 日常的に、お互いに見たい授業を見たい場面で見ると授業研究にすることで、自己の授業改善につながった。

⑩その他

小学校
中学校

解錠時刻・登校時刻の変更

【これまでの課題】

- 朝早く登校する生徒に合わせて出勤・解錠していた。
- 本来の出勤時刻は8時00分であったが、生徒の登校時刻が7時50分であったため、出勤時刻前から勤務が始まっていた。

【取組内容】

- 生徒玄関の解錠時間について、PTA役員会で合意形成を図った上で、保護者で文書で通知し、更に4月の参観日で詳細を説明した。
- 生徒の登校完了時刻を7時50分から8時15分へ変更した。

【取組の効果】

- 以前よりも朝のゆとりができ、「生徒を待たせてはいけない」という精神的負担もなくなった。
- 本来の勤務時間に出勤することができ、生徒への接し方にゆとりが生まれた。

⑩その他

中学校

帰りの会の短縮

【これまでの課題】

- 生徒に連絡事項をメモさせるため、帰りの会に時間がかかっていた。

【取組内容】

- 宿題等の連絡事項をタブレットに写真を撮って持ち帰ることで、帰りの会を5分短縮することができた。

【取組の効果】

- 帰りの会で行っていた連絡事項の転記作業を写真撮影に代えることで、記入漏れ等を防ぎ、確実な伝達につながった。
- 放課後にゆとりが生まれ、授業準備や個人で取り組みたい研究・研修に時間を使うことができた。

保護者への周知

小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

【これまでの課題】

- 学校の働き方改革を進めたいが、保護者の理解が得られるか不安だった。

【取組内容】

- 学校行事の削減・廃止など働き方改革推進についての情報を、学校だよりを通じて周知している。

【取組の効果】

- 働き方改革を理解してもらいながら、「保護者と一緒に学校をつくる」ことを目指し業務の整理を進めることができた。



「学校における働き方改革推進共同宣言」の活用

県教育委員会では、学校における働き方改革を後押しすることを目的に、令和7年7月22日、「学校における働き方改革推進共同宣言」を県市町村教育委員会連絡協議会、県PTA連合会、県高等学校PTA連合会、県特別支援学校PTA連合会と合同で発出いたしました。

各団体と連携・協力しながら、各学校における業務改善をより一層進めていただくためにも宣言を有効に御活用いただくようお願いいたします。

学校における 働き方改革推進

共同宣言

こどもたちと先生の
笑顔あふれる
学校のために



青森県の未来を担うこどもたちが、

学ぶことの楽しさを知り、生涯にわたりたくましく生きる力を身につけることができるよう、学校における質の高い学びが必要です。

このため、こどもたちの学びを支える教職員が一層のやりがいを持って働くことができるよう、

○業務の効率化などにより負担を軽減し、授業の準備やこどもと関わる時間の充実を図ること

○健康で心にゆとりを持ち、充実した時間を送ることで、自身の人間性や創造性を高めること

について、教育委員会とPTAが連携して取り組みます。

教育委員会は



PTAは

教職員の働きやすい職場づくりに取り組みます！

- ・学校に依頼する調査の精選
- ・ICTを活用した業務の効率化
- ・教職員をサポートする専門スタッフの活用
- ・部活動のあり方の検討、保護者・地域との連携 等

学校の取組を応援します！

- ・PTA行事の運営方法の見直し
- ・学校行事への参加・支援
- ・学校との共通理解と役割分担 等

保護者と地域の皆様へ

学校への連絡の際には、教職員の勤務時間（概ね8:00～16:30）にご配慮ください。

各学校では、勤務時間外は自動応答等による対応が進んでいます。
事件・事故などの緊急時には、警察や救急などへの連絡をお願いします。



登下校の見守りや花壇整備、学校行事の準備・後片付け、部活動のサポートなどのボランティアへの積極的な参加等をお願いします。



運動会等の内容変更や保護者参加行事の平日開催、お祭り等地域行事への関わり方などの学校行事の見直しについてご理解・ご協力をお願いします。



紙チラシの配布縮減や学校を介さない各種募集・アンケート調査の実施、デジタル化などの業務の見直しについてご協力をお願いします。



令和7年7月22日

青森県教育委員会、青森県市町村教育委員会連絡協議会、青森県PTA連合会
青森県高等学校PTA連合会、青森県特別支援学校PTA連合会

働き方改革に関する 取組事例を募集しています！

青森県教育委員会では、「学校における働き方改革」に関する取組事例を募集しています。

どんな小さな取組でもかまいませんので、あなたの学校での取組内容や効果などを教えてください。主に本事例集への掲載などに活用させていただきます。

下のURLまたはQRコードからログインし、フォームで紹介してください。よろしくお願いいたします！

◆URL

https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=15971

◆QRコード

